

広報 ふちゅう 4

目次

- 02 | 令和4年度 施政方針・主要事業・当初予算
- 07 | 町からのお知らせ
府中町パートナーシップ宣誓制度を開始します／4月から役場の組織が一部変わります ほか
- 24 | まちのわだい
水分峡森林公園が全面利用再開 ほか
- 25 | ふちゅう子育て応援イクフレ
- 26 | くらしのガイド
お知らせ／健康／講座・学習／意見募集／募集／イベント／スポーツ／相談
- 32 | ふるさとふちゅう再発見／朝パッ君のかんたんレシピ
- 33 | 図書館だより／消費生活相談
- 34 | 府中町消防署からのお知らせ／正しいごみ出しにご協力を
- 35 | 今月のカレンダー
休日当番医、施設の休館日など
- 36 | ふちゅうの宝みつけた！
サンフレッチェ広島 仙波 大志選手

町からお願い

本紙に掲載している行事等は新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減のため、手指消毒の徹底など基本的な対策を行った上で、実施します。参加される人は、朝の検温やマスクの着用などご協力をお願いします。
※状況に応じて、内容の変更や開催を中止する場合があります。

今月号の表紙



上空から見た府中公民館・府中町歴史民俗資料館の全景

令和4年度 施政方針

はじめに

令和4年度予算は、依然として厳しい経済環境の中での編成となりましたが、町の最上位計画である第4次総合計画の後期実施計画に基づき、町を取り巻くさまざまな社会情勢を見据えたものとなりました。

特に、私の目指す3つの宣言である「広島都市圏で一番の子育てしやすいまち」「志を育む教育のまち」



府中町長 佐藤 信治

「バランスのとれた行政施策の展開」に係る事業を実行していくとともに「防災・減災、国土強靱化」を進め、引き続き迅速で効果的な「新型コロナウイルス感染症への対策・支援」を実施します。

また、ポストコロナに向けて「行政手続きのオンライン化」を進め、デジタル社会の実現に向けた「自治体DX」を推進します。

令和4年度予算

予算の総額は、府中公民館等の改築事業の終了等により、一般会計は対前年度比13億5千2百万円、7.0%減の179億8百万円となりました。また、特別会計は、国民健康保険と介護保険の特別会計とともに減少となり、後期高齢者医療特別会計は増加となりました。

◆歳入

町税は、コロナ禍ではありますが回復を見込み、74億2千2百万円（対前年度比2億5千万円、3.5%増）となりました。

また臨時財政対策債を含めた交付税や町債は、ともに減少となる一方、国庫支出金は新型コロナウイルス感染症関連の補助金などにより、大幅な増加となりました。

3月7日に開催した府中町議会定例会で発表した、令和4年度町政運営の方針や重点施策などの概要をお知らせします。※全文は、町ホームページに掲載しています。



◆歳出〔主な取り組み〕

1 新型コロナウイルス感染症対策

ワクチン接種体制の確保を継続し、12歳以上は2回目まで、18歳以上は3回目までの接種を推進するとともに、5歳～11歳の児童についても接種を進めます。

町民・事業者の皆さんへの支援策として、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付や保育士等の処遇改善のための費用補助を引き続き行います。

2 災害に強いまちづくり

「防災・減災事業」として、ウェーブハザードマップを作成するほか、自主防災組織の資機材等購入や防災リーダー育成の助成を行います。

また前年度に引き続き、避難所の防災備蓄倉庫を2か所整備し、計画的な備蓄を行います。

「災害対策事業」では、災害時に支援を必要とする人の個別避難計画を作成します。

3 広島都市圏で一番の子育てしやすいまち

「ネウボラセンター事業」において、安心して妊娠・出産・子育てができる

る切れ目のない支援を行います。

「不妊治療費助成事業」は、特定不妊治療の保険適用外となった治療に対し、町独自の助成を行います。また新たに「不育症治療費助成事業」として、不育症の検査と治療費用の助成を行います。

県のモデル事業である「子どもの予防的支援構築事業」では、Aーを活用し、子どもの育ちに関するさまざまなリスクの予防的支援を進めます。

4 志を育む教育のまち

「学校運営改善推進事業」は、スクールカウンセラーの配置を継続し、不安を抱えている児童生徒へ適切な指導を実施します。「グローバル教育事業」では、外国語指導助手を派遣するとともに、中学校全学年の英語検定費用1回分を助成します。また「学校給食費公会計化準備事業」は、給食費の公会計化（令和5年度予定）に向けてシステム導入等を行います。

「小学校施設改修等事業」では、南小学校外壁改修工事を行い、あわせて、府中南体育場、南小学校区放課後児童クラブの外壁・屋根修繕工事を実施します。

5 バランスのとれた行政施策の展開

「重層的支援体制準備事業」は、個

人や世帯が抱える複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築（令和6年度予定）を目指して準備を進めます。

「都市計画調査事業」は、昨年から実施しているデマンド型乗合タクシーの試験運行を継続し、有効性や持続可能性について検証します。

「創業・ベンチャー支援等促進事業」では、サテライトオフィスの誘致助成を行うとともに、事業者の販路開拓のための支援を引き続き行います。

「下岡田官衙遺跡保存・整備事業」は、国の史跡指定に伴い、記念シンポジウムを開催します。また遺跡を適切に保存し活用するため、史跡等保存活用計画を策定します。

また「高齢者いきいき活動ポイント事業」を引き続き実施し、ポイント数に応じた奨励金を支給します。

6 ポストコロナに向けた行政施策の展開

窓口での証明書等手数料のキャッシュレス化を順次開始するほか、「総合行政情報システム構築事業」において、紙帳票のデジタル化やデータ入力作業の自動化に向けたシステムを構築し、行政のデジタル化・自治体DXを加速します。また、「新たな働き方」として、電子決裁システム

もに、内部情報システムを構築（令和5年度運用予定）します。

7 住みよいまちづくりのための施設等整備

「向洋駅周辺土地区画整理事業」は、県事業の今後の工事スケジュールに合わせて、地区の整備を行います。また改築工事が完了した「新府中公民館」は、公民館・歴史民俗資料館・消防団第1分団詰所の複合施設として、4月に開館します。

下水道事業は、府中1号幹線の改築更新工事を継続するとともに、公共下水道の整備を引き続き進めます。

誰もが住み良さを実感できるまちに

これまでに掲げた事業のほかに、男女共同参画、人権施策、平和行政の推進、健康づくりなど、幅広く町民の皆さんのニーズに対応した取り組みを進めます。加えて、役場は町民の皆さんのためにあることを念頭に「笑顔の役場」づくりを進めていきます。

これらの事業を着実に実施し、成果をあげることで、誰もが「住んでよかった」「住んでみたい」「これからも住み続けたい」と実感できる府中町を目指して精一杯取り組んでまいります。町民の皆さんの一層のご理解とご協力をお願いします。

令和4年度

主要事業

新型コロナウイルス感染症対策、災害に対する取り組み、町長の「3つの宣言」に係る主な取り組み、施設整備やポストコロナに向けた環境整備など、今年度実施する主な事業をお知らせします。



新型コロナウイルス感染症対策

保育士等処遇改善 臨時特例事業 2334万2千円

令和4年4月から9月までの間、職員の賃金改善を行う教育・保育施設等に対し、必要な費用を補助します。

住民税非課税世帯等 臨時特別給付金給付事業 1億825万3千円

住民税非課税世帯等に対して、1世帯10万円を給付し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた人を支援します。

新型コロナウイルス ワクチン接種体制確保事業 2億1768万円

12歳以上の2回目までの接種、18歳以上の3回目までの接種を進めます。また5歳～11歳の小児を対象とした接種も進めていきます。



災害に対する取り組み



防災体制強化事業

1633万4千円

避難所に防災備蓄倉庫を設置し、避難所機能の更なる強化を図ります。また災害に備え、毛布や飲料水、食糧等の計画的な備蓄を引き続き行います。

災害対策事業 490万2千円

避難行動要支援者名簿を作成します。また、「避難行動要支援者個別避難計画」について周知を図り、個別避難計画の作成に取り組みます。

防災・減災推進事業 711万7千円

自主防災組織の資機材等購入や防災士資格取得に係る活動費等の助成、避難の呼びかけ体制の構築支援を引き続き実施します。また、ウェブハザードマップを新たに作成します。



広島都市圏で一番の子育てしやすいまち

不育症治療費助成事業 90万円

2回以上の流産や死産等があり、不育症と診断された人を対象に、保険適用外の不育症検査と治療に要する費用に対し、町独自の助成を行います。

ネウボラセンター事業 2046万9千円

安心して妊娠・出産・子育てができる切れ目のないサポート体制を強化し、子育て家庭の負担の軽減を図るとともに、子どもの健やかな成長を支援します。

不妊治療費助成事業 885万円

特定不妊治療の一部保険適用化に伴い、保険適用外治療に対して、町独自の助成を行います。また不妊検査・一般不妊治療費について既存の助成を継続し、保険適用された特定不妊治療費に対しても国・県に準じた経過措置を設けます。





志を育む教育のまち

グローバル教育事業 1534万3千円

グローバル社会に挑戦する児童生徒の育成を図るため外国語指導助手（ALT）の派遣や非常勤講師の配置を行います。また、中学校では全学年の英語検定の費用を年1回助成します。

小学校施設改修等事業 1億2606万円

町の「維持保全計画（建築物）」に基づき、府中南小学校校舎の外壁の改修工事を実施します。

学校給食費公会計化準備事業 490万9千円

学校給食費公会計化の開始にあたって必要なシステム導入等の準備作業を行います。



バランスのとれた行政施策の展開



下岡田官衙遺跡^{かんが} 保存・整備事業 845万3千円

下岡田官衙遺跡国史跡指定記念シンポジウムを開催します。また、下岡田官衙遺跡を適切に保存し、後世につなげるため保存活用計画の策定を行います。

重層的支援体制 準備事業 725万6千円

令和6年度中の整備を目指し、個人や世帯が抱える複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制（重層的支援体制）の構築に着手します。



住みよいまちづくりのための 施設等整備

管路建設改良費(下水道事業) 2億8077万5千円

砂原第2処理分区、鶴崎処理分区の公共下水道の整備を進めます。また、長寿命化事業として、府中1号幹線（雨水）改築更新工事の継続実施と、千代幹線（汚水）の改築更新工事を行います。

向洋駅周辺土地地区画整理事業 3億4444万9千円

向洋駅周辺の整備に向けた物件移転補償と画地整備を実施します。
※年度末の整備面積見込み
6.12ha／7.82ha（全体面積）



ポストコロナに向けた環境整備 (自治体DX)

行政のデジタル化

総合行政情報システム構築事業（1012万8千円）

- ・公共施設予約システムの対象施設・機能を拡充します。
- ・各種帳票のデータ化など、業務の効率化に向けたシステム構築を進めます。

文書法規管理事業（924万円）

- ・「新たな働き方」として、文書管理・電子決裁システムの導入に向けた調査等を実施します。



令和4年度 当初予算

一般会計と特別会計の予算と前年からの増減率

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計	179億832万6千円	192億6007万1千円	△13億5174万5千円	△7.0%
特別会計				
土地取得	1万1千円	1万1千円	0円	0.0%
国民健康保険	44億8651万7千円	44億9803万1千円	△1151万4千円	△0.3%
介護保険	40億6370万4千円	41億6072万円	△9701万6千円	△2.3%
後期高齢者医療	8億4067万8千円	8億1131万8千円	2936万円	3.6%
合計	272億9923万6千円	287億3015万1千円	△14億3091万5千円	△5.0%

公営企業会計の予算と前年からの増減率

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
下水道事業会計				
収益的収入 および支出				
下水道事業収益	13億7458万2千円	13億481万3千円	6976万9千円	5.3%
下水道事業費用	13億3539万3千円	12億8442万5千円	5096万8千円	4.0%
資本的収入 および支出				
資本的収入	5億275万8千円	6億8218万2千円	△1億7942万4千円	△26.3%
資本的支出	10億5520万5千円	12億230万6千円	△1億4710万1千円	△12.2%

一般会計予算の構成

用語解説

【歳入】

町 税 町民税・固定資産税・都市計画税等、みなさんが納めるお金

国 庫 支出金 施設の整備・福祉など特定の目的のために国から交付されるお金

町 債 施設や道路の整備など多額の費用がかかる場合に、国や銀行などから借りるお金

【歳出】

民生費 福祉の向上や子育て支援などに使うお金

公債費 過去に借りたお金（町債）の返済に使うお金

土木費 道路・橋・町営住宅などの整備、維持に使うお金

衛生費 健康・環境・ごみ処理などに使うお金

教育費 学校教育やスポーツ・文化振興などに使うお金

総務費 行政運営・税徴収や戸籍・住民票の事務などに使うお金

消防費 消防活動・災害対策などに使うお金

